

日野市教育委員会 様

学 校 名 日野市立日野第三小学校  
校 長 名 館 敏 晴  
(公印省略)

令和8年度教育課程について (届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

- よく考える子ども (知識技能、思考力・判断力・表現力等を身に付け、意欲的に学ぶ子供)
- ◎ 思いやりのある子ども (自己を律し、他と協調して、命を大切にする子供)
- 体をきたえる子ども (自らの健康増進・体力向上に努め、運動に親しむ子供)
- 最後までやりぬく子ども (苦難や逆境を乗り越えて人生を自ら創造していく子供)

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

人権尊重の精神を基盤に、一人一人に合った多様な学びを通して、知識及び技能の育成、思考力・判断力・表現力等の醸成、学びに向かう力・人間性の涵養を図るとともに「すべての“いのち”がよるこびあふれる今と未来をつくっていく力」を養う教育活動を実践する。また、学校プロジェクトを通して、児童一人一人が持っている力を発揮し、他者と協力して、より自発的に行動できるようにする。さらに、地域をステージとし、地域の方々と協力して、自ら考え進んで行動する児童の育成を目指し、社会に開かれた学校づくりを進める。

ア よく考える子どもを育成するために

- ・ 分かる授業を創造して、児童が学ぶ楽しさを味わえる授業を展開する。
- ・ 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善、及び思考力・判断力・表現力等の育成を図るために、授業のユニバーサルデザインを基に徹底する。
- ・ 学習意欲の向上を図り、学習内容の基礎・基本を確実に習得させる。
- ・ 一人1台学習者用端末を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。
- ・ 読書・学習・情報センターとしての図書館機能を充実させて学習活動を展開する。
- ・ 生活科・総合的な学習の時間等において地域の施設や人材を積極的に取り入れ、地域の教育力を活用した学習活動の充実を図る。
- ・ 教員の専門性を生かした授業交換・単元交換授業を行う。
- ・ 特性に応じた指導や、関係機関と連携した組織的な支援をするため特別支援教育の充実を図る。

イ 思いやりのある子どもを育成するために

- ・ 挨拶や規範意識などの基本的な生活習慣を身に付け、多様な人々と関わることで思いやりの心や社会に貢献する精神を育成する。
- ・ 道徳科の授業における「考え、議論する道徳」の指導や評価を充実させ、豊かな心を育成する。
- ・ いのちを大切にする教育を進め、いじめを許さない生活環境を構築し、学校いじめ対策委員会を中心として、いじめの未然防止、早期発見、組織的な対応を徹底する。

ウ 体をきたえる子どもを育成するために

- ・ 運動に親しむ習慣を定着するために授業を改善し、日常的に体力向上を図る活動を充実する。
- ・ 本物に触れる体験授業を実施し、運動の楽しさや体を動かす心地よさを体得する。
- ・ 自らの健康維持ができるよう、家庭・地域と連携した健康に関する教育を推進する。

エ 最後までやりぬく子どもを育成するために

- ・ 実社会や実生活の中から問いを見だし、探究的な学習にねばり強く取り組む態度を養う。
- ・ スタートカリキュラムによる幼稚園・保育園との円滑な接続、中学校との連携教育を推進する。
- ・ SDGs カレンダーを基に、年間を見通した体験型の授業実践の充実を図る。

## 2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

## ア 各教科

- ・ 週ごとの指導計画を基に、教育課程の適正な進行管理、妥当性・信頼性のある評価を行う。
- ・ 「内容」「方法」「変容(向上)」の視点から、自ら参加する授業を創造し、どの児童にも分かる授業を実践する。
- ・ 視覚化・焦点化・共有化等を取り入れ、個に応じた授業展開を図る。
- ・ 朝学習時に読書量の増加、基礎学力・対話力の向上を図る。
- ・ GIGAワークブックとうきょうを活用し、情報モラルの意識を向上させ、「個別最適な学び」、「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
- ・ 学校図書館の読書センター・学習センター・情報センター機能を向上させ、知識の取得、探究課題解決への反映を図り、主体的な学びとする。
- ・ 体育科授業において運動に親しみ、心身の健康を保持し体力を向上するための基本的な技能を身に付ける。
- ・ 体力向上週間、運動発表会等により、年間を通して助け合いながら運動する態度を育成する。
- ・ ことばの教室「たんぼぼ」、リソースルームと連携を図り、個の課題を解決する指導方法を工夫し、基礎学力や学習方法を習得させる。

## イ 特別の教科 道徳

- ・ 「自分も人も大切に生きて生きる」人権教育を基に、生命の尊さ、親切、思いやりの心を育む。
- ・ 教科横断的な視点にて授業を組み立て、自己を見つめ生活を振り返る時間とする。
- ・ 対話を通して、物事を多面的・多角的に考え、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

## ウ 外国語活動

- ・ ALT、外国語講師と連携し、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。
- ・ ALTと連携し、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- ・ 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

## エ 総合的な学習の時間

- ・ 学校や地域などから、身近な問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を育成する。
- ・ 地域・社会をよくするための探究的な活動に主体的・協働的に取り組むことを推進する。
- ・ 地域に愛着をもち貢献する実践力を高める。
- ・ 各教科等をSDGsカレンダーカレンダーに沿って横断的・総合的にとらえて単元を設定し、児童の興味・関心に基づく学習を実践する。

## オ 特別活動

- ・ 児童主体の対話や活動を重視し、発達段階に応じた合意的形成、意思決定を行う力を育成する。
- ・ 集団の一員として望ましい行動の仕方を身に付けさせる。
- ・ 「なかよし班活動」や学級活動、児童会活動、学校行事などにおいて、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を養う。
- ・ 「キャリア・パスポート」等を活用し、夢や目標に向けて取り組んだことを振り返り、自己の成長を実感させて自尊感情・自己肯定感を高め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

## (2) 生活指導・進路指導

### ア 生活指導

- ・ 多様性を認め合い、一人一人の生命の尊さ、生きていくことのすばらしさを実感させる活動を充実させ、規範意識及び生活規律の向上を図り、望ましい集団生活を構築する。
- ・ 生命（いのち）の安全教育、日常的なSOSの出し方に関する教育を推進し、生命尊重及び互いを大切にする心情を育成する。
- ・ 「人権教育プログラム」を適切に活用し、全教職員の人権感覚を磨くための校内研修の充実を図り、児童の他者意識や他者理解力を育成し、児童一人一人の人権感覚を高める。
- ・ 「自分も人も大切に生きて生きる」人権教育を推進し、児童自ら主体的に行動し、粘り強く目標を達成する、課題解決の具現化を図る取組を実施する。
- ・ 生活指導提要の趣旨を踏まえ、児童の自己指導能力を育成するため、学習指導と生活指導とを関連付けた指導の充実を図る。
- ・ 欠席が連続している児童に対し、関係機関と連携した組織的対応を図るとともに、リソース2を活用した学びの支援により、不登校の未然防止、早期発見、長期化への対応を強化する。
- ・ 児童に暴言・暴力等「いじめを許さない」強い意識を醸成するため、生活アンケートによりいじめを早期発見するとともに、「学校いじめ対策委員会」を核とした組織的対応を徹底する。
- ・ いじめの未然防止、早期発見、早期対応を組織的に行うため、定期的に情報配信を行い、学校・家庭・地域における「学校いじめ防止基本方針」の理解及びその具現化を図る。
- ・ 「生命（いのち）の安全教育」の教材・指導の手引きを活用し、児童の発達段階に応じた、計画的な生命（いのち）の安全教育を実施し、家庭・地域へ情報配信を行う。
- ・ 年11回以上の避難訓練の実施及び日常的・定期的な安全指導の充実を図るほか、「セーフティ教室」、「薬物乱用防止教室」、「災害体験者から学ぶ教室」を実施する。
- ・ 「安全教育プログラム」、「防災ノート～災害と安全～」、「東京マイ・タイムライン」等の活用を図り、生活安全・交通安全・災害安全の指導の充実を図る。
- ・ 特別支援教育コーディネーターを要とし、組織的対応及び課題解決を図るため、校内委員会における運営の改善を図る。

### イ 進路指導

- ・ 学校行事、委員会・クラブ活動等において児童一人一人のよさや可能性を生かす場を設定し、課題解決や自己の目標達成に向けて意欲的に取り組む実践力を育成する。
- ・ 幼保小中連携教育を推進し、中学校区の保育園・幼稚園、小中学校及び特別支援学校との交流の充実を図り、将来への見通し及び、夢や希望をもって生きていく態度を育てる。
- ・ 地域人材や社会人講師を招いた学習を通して、望ましい職業観・労働観を育成し、自己の選択による生き方、自分らしい生き方の実現を目指す。

## (3) 特色ある教育活動

- ・ 「みんなで作る みんなのための学校」プロジェクトの具現化に向け、学校環境の整備及び基礎・基本を重視した教育を推進し、全ての児童が居心地のよい学校づくりを目指す。
- ・ コミュニティ・スクールとして、学校支援ボランティアの充実等、学校・家庭・地域にて情報共有及び交流を図り、互いに支え合う「みんなのための みんなの学校」をつくる。
- ・ 福祉教育ハートフルプロジェクトを実施し、児童が互いを知り、認め合い、他者のために何ができるか自ら考え判断し行動する福祉教育を推進する。
- ・ 学校2020レガシーの取組を継続し、礼法の学習、障害者理解教育の充実を図る。
- ・ 一人1台学習者用端末の活用を推進するとともに、情報モラルについても取り扱う。
- ・ 特別支援学級、ことばの教室「たんぼぼ」、特別支援教室、リソースルーム等との情報共有の充実を図り、「個別最適な学び」、「協働的な学び」を推進する。

第3表

学校名 小03 日野市立日野第三小学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	16	18	22	13	0	19	21	19	19	15	18	17	197
2	18	18	22	13	0	19	21	19	19	15	18	17	199
3	18	18	22	13	0	19	21	19	19	15	18	17	199
4	18	18	22	13	0	19	21	19	19	15	18	17	199
5	18	18	22	13	0	19	21	19	19	15	18	18	200
6	18	18	22	13	0	19	21	19	19	15	18	17	199
備考	・第1学年は、入学式が4月8日のため、2日減。 ・第5、6学年は卒業式に出席し、第6学年は修了式に出席しないため、第5学年は、第1～4学年、第6学年より1日増。 ・振替休業日のない土曜日授業の日数は0日												

(2) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の年間授業時数配当表

領域		学年	1	2	3	4	5	6
各教科	国語		306	315	245	245	175	175
	社会				70	90	100	105
	算数		136	175	175	175	175	175
	理科				90	105	105	105
	生活		102	105				
	音楽		68	70	60	60	50	50
	図画工作		68	70	60	60	50	50
	家庭						60	55
	体育		102	105	105	105	90	90
	外国語						70	70
	小計		782	840	805	840	875	875
特別の教科 道徳			34	35	35	35	35	35
外国語活動			( )	( )	35	35		
総合的な学習の時間					70	70	70	70
特別活動	学級活動		34	35	35	35	35	35
	クラブ活動					(9)	(9)	(9)
	委員会活動						(11)	(11)
総計			850	910	980	1015	1015	1015
備考	・1単位時間45分 ・第1学年はスタートカリキュラムのうち、年間10 1/2時間を余剰時数で実施する。 ・クラブ活動及び委員会活動は、総授業時数外で実施する。クラブ活動は60分として、9回(12時間)実施する。 ・総合的な学習の時間の名称は、総合的な学習の時間とする。 ・第1学年、第2学年は、年間5時間の余剰時数で外国語活動を実施する。							

第4表の1

学校名 小03 日野市立 日野第三 小学校

4 学 校 行 事

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	水		金		月		水	避難訓練	土		火	始業式
2	木		土		火	ハヶ岳移動教室始(5)	木		日		水	給食始
3	金		日	憲法記念日	水	ハヶ岳移動教室終(5)	金		月		木	避難訓練
4	土		月	みどりの日	木	避難訓練	土		火		金	
5	日	春季休業日終	火	こどもの日	金		日		水		土	
6	月	始業式	水	振替休日	土		月		木		日	
7	火	給食始(2~6)	木		日		火	安全指導	金		月	
8	水	入学式	金	避難訓練 (引き渡し)	月		水		土		火	安全指導
9	木		土		火	安全指導	木		日		水	
10	金	安全指導 定期健康診断始	日		水	開校記念日	金	SOSの出し方に関する教育(5)	月	閉庁日始	木	校外学習(5)
11	土		月		木		土		火	山の日	金	演劇鑑賞会
12	日		火	安全指導	金		日		水		土	学校公開日 道徳授業地区公開講座
13	月		水		土		月	水泳指導終	木		日	
14	火		木	自転車安全教室(3)	日		火		金	閉庁日終	月	振替休業日
15	水	給食始(1)	金		月		水		土		火	
16	木	避難訓練	土		火	日光移動教室始(6)	木	給食終	日		水	
17	金		日		水		金	終業式	月		木	
18	土		月		木	日光移動教室終(6)	土		火		金	
19	日		火	定期健康診断終	金		日		水		土	
20	月	家庭訪問始	水		土		月	海の日	木		日	
21	火	市学調(5)	木	校外学習(6)	日		火	夏季休業日始 夏季学習会始	金		月	敬老の日
22	水	交通安全教室(1,2)	金	セーフティ教室 学校公開	月		水		土		火	国民の休日
23	木	国学調(6) 家庭訪問終	土	学校公開日	火	校外学習(3)	木		日		水	秋分の日
24	金	個人面談	日		水		金	夏季学習会終	月		木	
25	土		月	振替休業日	木		土		火		金	
26	日		火		金		日		水		土	
27	月	水泳指導始	水	体力テスト始	土		月		木		日	
28	火		木	体力テスト終	日		火		金		月	
29	水	昭和の日	金		月		水		土		火	
30	木		土		火		木		日		水	
31			日				金		月	夏季休業日終		

第4表の2

学校名 小03 日野市立 日野第三 小学校

月	10月		11月		12月		1月		2月		3月		
日	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	
1	木	避難訓練	日		火	避難訓練	金	元日	月		月		
2	金		月		水		土		火	避難訓練 災害体験者から学ぶ教室(5)(6)	火	避難訓練	
3	土		火	文化の日	木		日		水		水		
4	日		水		金		月		木		木		
5	月		木		土		火		金		金		
6	火	安全指導	金		日		水		土		土		
7	水		土	東京都教育の日	月		木	冬季休業日終	日		日		
8	木		日		火	安全指導	金	始業式	月		月		
9	金		月	避難訓練 (二次避難)	水		土		火	安全指導	火	安全指導	
10	土		火	安全指導	木		日		水		水		
11	日		水		金		月	成人の日	木	建国記念の日	木		
12	月	スポーツの日	木		土		火	給食始 安全指導	金		金		
13	火		金		日		水		土		土		
14	水		土		月	個人面談始	木	避難訓練	日		日		
15	木		日		火		金		月		月		
16	金		月		水		土		火		火		
17	土	運動発表会	火	校外学習(5)	木		日		水		水		
18	日		水		金	個人面談終	月		木		木		
19	月	振替休業日	木		土		火		金		金		
20	火		金		日		水		土	学校公開日 展覧会	土		
21	水		土		月		木		日		日	春分の日	
22	木	校外学習(4)	日		火		金	薬物乱用防止教室(5)	月	振替休業日	月	振替休日	
23	金		月	勤労感謝の日	水		土		火	天皇誕生日	火	給食終	
24	土		火		木	給食終	日		水		水	卒業式	
25	日		水		金	終業式	月		木		木	修了式	
26	月	校外学習(1,2)	木	小学校連合音楽会(6)	土	冬季休業日始	火		金		金	春季休業日始	
27	火		金		日		水		土		土		
28	水	校外学習(3)	土		月		木		日		日		
29	木		日		火		金	学校公開日	/			月	
30	金		月		水		土					火	
31	土		木		日		水					水	